



国土交通省  
信濃川河川事務所

記者発表資料

平成21年8月10日

## 『東日本旅客鉄道(株) 宮中取水ダムについて』

**JR信濃川発電所より誤操作の原因等の報告を受けました。**

平成21年7月2日(木)に、東日本旅客鉄道(株)信濃川発電所 宮中ダムで発生したゲートの誤操作について、同日、信濃川河川事務所長より信濃川発電所長に対し、誤操作にかかる事実関係・原因・再発防止策の報告を求めておりました。

本日8月10日(月)に、下記の報告がありましたのでお知らせいたします。

報告事項(概要は別紙のとおり)

- I 宮中ダム取水ゲート誤操作にかかる事実関係
- II 宮中ダム取水ゲート誤操作の原因
- III 再発防止策の作成と実施及びその徹底状況

なお、誤操作の報告があった日より「取水ゲート操作を現地で行うよう指導」しておりましたが、本報告を受けて通常の操作への復帰を了解しました。

信濃川河川事務所では報告された「再発防止策の実施及びその徹底状況」について引き続き監視して参ります。

取り扱い 本資料の発表をもって解禁とする。

同時記者発表クラブ

長岡市政記者会  
週旬刊記者会

【問い合わせ先】

信濃川河川事務所  
副所長(技術) 酒井 大助  
電話)0258-32-3020

管理課長 本間 政幸  
電話)0258-32-3259

# 「宮中ダム取水ゲートの誤操作について(報告)」

## I 宮中ダム取水ゲート誤操作にかかる事実関係

- 1 発生日時：平成21年7月2日(木) 4時56分
- 2 発生場所：東日本旅客鉄道(株) 信濃川発電所 総合制御所  
(新潟県小千谷市山本316番地)
- 3 経過：7月2日4時56分08秒に誤操作、5時04分21秒に復帰  
(この間超過取水)
- 4 状況報告：十日町市、小千谷市、川口町及び、かんがい関係者3者へ誤  
操作・超過取水を報告
- 5 付記：超過取水量 約3,138m<sup>3</sup> (推定)  
超過取水による発電電力量 約800kwh (推定)

## II 宮中ダム取水ゲート誤操作の原因

- 1 運転運用内規では、2名で指差称呼確認し操作すべきところ、運転員1  
名で行った。
- 2 洪水吐きゲート(8号)の「開」操作を行う際に制御対象を誤り、さらに  
選択した取水ゲート(5,6号)の設定値をよく確認せずに操作した。
- 3 取水ゲート(5,6号)を、もとの開度に戻す操作がすぐにできなかった。

## III 再発防止策の作成と実施及びその徹底状況

- 1 再発防止策(当面の対策)：7月2日～7月13日間で実施済
  - (1)注意喚起表示の掲出
  - (2)点呼時に注意喚起標語を唱和
  - (3)基本動作の再徹底及び内規類の再教育
  - (4)ゲート操作チェックのための監視体制強化
  - (5)取水ゲート電源の開放(暫定：ゲート操作を機側操作に限定)
  - (6)水力総合監視制御システムの制御除外設定(取水ゲート5,6号)
- 2 再発防止策(恒久対策)
  - (1)水力総合監視制御システムの改修
  - (2)宮中操作所門扉制御盤の改修
- 3 再発防止策の実施及び徹底状況
  - (1)注意喚起表示の掲出及び唱和(平成21年7月2日実施済)
  - (2)NumLock(パソコンテンキー)キーカバーを設置(平成21年7月6日実施済)
  - (3)総合制御所運転員全員へ再教育を実施(平成21年7月13日実施済)
  - (4)1名増配置による監視体制強化(平成21年7月2日夜より実施済)
  - (5)取水ゲート(5,6号)の電源開放(平成21年7月2日実施済)
  - (6)取水ゲート(5,6号)の制御除外設定(平成21年7月2日実施済)
  - (7)水力総合監視制御システムの改修(平成21年度内に実施)
  - (8)宮中操作所門扉制御盤の改修(平成21年度内に実施)

以上

# JR信濃川発電所

洪水吐ゲート(No.8)を開操作しようとしたところ、  
誤って取水ゲート(No.5, 6)を開操作してしまった。

